

令和2年6月 日

局区等の庶務担当課長 様

総合企画局総合政策室
市民協働課長
(担当：坂巻・岩田 222-3178)

市民協働による

「庁内・お困りごとバンク」はじめます！！

～コロナ情勢下における、市民とともに乗り越える課題解決先進都市へ～

社会状況の変化が著しい昨今、行政だけ、担当部署だけでは解決できない社会課題が多くなっています。

とりわけ、コロナによる社会不安の長期化が予想される中、「ポストコロナ」「ウィズコロナ」の観点も踏まえ、新しい社会の在り方や新しい文化を創造し、レジリエンスなまちを市民と共にどう作り上げるのか、また、日々の行政課題にどう対応していくのか、頭を抱えつつ、チャレンジしていかなければなりません。

そのような様々な行政課題の解決に向けて、市民協働推進担当が市民協働ファシリテーターと共に伴走支援を行います。オンラインも含めた市民との対話の場づくり、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者のご紹介、協定に基づく企業等との連携などにより、人や場やプロジェクトをつなぎます。

こんな状況であるからこそ、つながりを大事にし、新たな視点で課題解決に取り組んでみませんか？

まずは、庁内各部署のお困りごとについて募集します！ご登録をよろしくお願いします！

記

1 募集内容

各部署で抱える連携や協働に関する“お困りごと”

- ・お困りごとの課題テーマは、なるべく具体的に表現してください。
- ・課題テーマ、内容については、別紙「テーマ応募用紙」に記載の見本例も参照ください。

※“お困りごと”については、「庁内・お困りごとバンク」に登録及びサポート対象にします。

2 支援メニュー

(1) 重点支援

「庁内・お困りごとバンク」に登録した“お困りごと”のうち、年2件程度を重点的に伴走支援します（本年度はオンラインも積極的に活用します。）。

(2) 個別支援

重点支援案件以外については、「4 その他主な支援」に掲げるとおり、個別の支援を行います。

3 重点支援の内容（年２件程度）

重点支援のお困りごとのテーマごとに、市民協働ファシリテーター（※）、市民協働推進担当が参画するプロジェクトチームを作り、約半年間（最短３ヶ月から最長６ヶ月程度を想定（更新も可））、月１回程度のミーティング等を通じて課題を明確化し、①対話、②関係性、③実践、④広報の４つの手法を駆使しながら、チームで具体的な解決策を考案していきます（本年度はオンラインも駆使し、実施する予定です。）。

※市民協働ファシリテーター：ワークショップデザインや、課題に対する問いの立て方について、５日間の実践型の研修を受講し、市長から任命された職員（現在、任命登録者９０名）

4 その他主な支援

(1) 市民協働ファシリテーターによるワークショップの支援事例

年間延べ１４件１２０名派遣（令和元年度実績）

具体例）

- ・「３施設一体整備の新施設設計に係るワークショップ」の開催（障害保健福祉推進室主催）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000258479.html>

- ・市民協働ファシリテーター養成研修「We Love Kyoto」のテーマ募集

<https://tsukuru-kyoto.net/recommend/lovekyoto2019/>

(2) 市民、企業、まちづくり団体、専門家等の紹介事例

「まちづくり・お宝バンク」取組提案者等の紹介

具体例）

- ・「まちづくり・お宝バンク」取組提案者（現在３６６件提案登録）

<https://tsukuru-kyoto.net/bank/>

- ・本市と協定締結している民間団体

<https://tsukuru-kyoto.net/related/corporate/>

(3) 広報支援の事例

具体例）

- ・ポータルサイト「みんなでつくる京都」

<https://tsukuru-kyoto.net/>

- ・公式フェイスブック，ツイッター

<https://ja-jp.facebook.com/kyotoshiminsanka>（フェイスブック）

https://twitter.com/kyo_shiminsanka（ツイッター）

5 応募のメリット

- (1) 所管部署が掲げる課題を問い直す機会となり、解決に向けたアイデアや取組を様々な観点から検討できる。
- (2) 対話（オンライン対話等）とファシリテーション手法を活用できる。
- (3) お困りごとの解決に係る、関係者（まちづくり団体，NPO，企業，大学等）と出会える可能性が高まる。

6 応募方法

別紙の応募用紙を、総合企画局総合政策室SDGs・市民協働推進担当（坂巻・岩田）まで庁内メールにてお送りください。

7 応募期限

令和2年7月31日（金）まで

※令和2年度の取組として期限を設定していますが、応募期限後も随時相談は受け付けています。

8 その他

本照会について、ご不明な点があれば気軽にご連絡ください。

参考）前年度の伴走事例

「チャレンジ！！オープンガバナンス」（※）で、本市における以下の2つの取組がファイナリストに選ばれました。

・ チーム Kyo-So（共創し，協奏し，京想する）

地域課題：森林・林業の持続可能な未来と地域振興

アイデア名：京都の“木”と ICT の“目”でつながる“心”
～林福連携「京想」プロジェクト～

・ Pharmatching（ファーマッチング）しておくれやす☆

地域課題：市民による薬局・薬剤師等の活用推進（健康サポート薬局の普及）

アイデア名：ICT の活用により市民と薬局・薬剤師と繋がり合う事ができ，身近に相談できる地域社会を実現する新サービス“Pharmatching（ファーマッチング）”

※チャレンジ！！オープンガバナンス

自治体が地域課題（子育て・教育，高齢化・医療，環境，防災，産業振興，まちづくりなど）と関連データを提示し，それに対して市民がアイデアをまとめるプロセスと成果が審査・評価されるコンテスト。

「庁内・お困りごとバンク」 テーマ応募用紙

(局区等名：)

お困りごとの テ　　ー　　マ	
所　　属　　名	
担　当　者　氏　名	
連　　絡　　先	—
お困りごと（行政 課題，事業課題）の 内　　　　　　容	
お困りごとの 提　出　理　由	
お困りごとの 分　　　　　　類	以下の項目のうち，当てはまるものにチェック☑してください。 （複数選択も可能） ☐ (1) お困りごとを解決する企画を構想し，事業化したい （プロジェクト化） ☐ (2) 市民，企業，専門家等の自由な意見が聞きたい （対話の場の設定，ワークショップ実施等） ☐ (3) 市民，企業，専門家等を紹介してほしい （「まちづくり・お宝バンク」提案者，協定締結団体等の紹介） ☐ (4) 効果的な広報，宣伝の機会がほしい （広報支援） ☐ (5) その他，市民や他方面の連携
関係する事業が ある場合は， そ　の　事　業　名	
関係する団体候補 がある場合は， そ　の　団　体　名	

<回答期限：令和2年7月31日（金）>

※局区等で課題を複数提示いただける場合には，お手数ですが課題ごとにこの様式を作成ください。
各項目の記載枠は，必要に応じて引き伸ばしていただいて結構です（2枚以上となっても可）。

「庁内・お困りごとバンク」 テーマ応募用紙

(局区等名：保健福祉局)

お困りごとの テ ー マ	市民による薬局・薬剤師等の活用推進
所 属 名	医療衛生推進室〇〇課
担 当 者 氏 名	〇〇
連 絡 先	2 2 2 - 〇〇〇〇
お困りごと（行政 課題，事業課題）の 内 容	薬局は保険調剤業務以外にも相談応需や在宅医療への参加を通して地域住民の健康に貢献していくべきであり，そのために地域住民からの健康相談を気軽に受けられる場所である必要がある。 しかし，地域住民にとって現在の薬局は処方せんを持って薬をもらいに行くだけの場所という認識が強く，処方せんが無ければ訪れにくい場所となってしまう。 地域住民が身近な健康相談の場として，近所の薬局・薬剤師等を活用しやすくなるようにするには，どうしたらよいか。
お困りごとの 提 出 理 由	現在の薬局・薬剤師等は，地域住民にとって身近に健康相談できる場となっておらず，「かかりつけ薬局・薬剤師」の認知度は大変低い状況にとどまっている。 「かかりつけ薬局・薬剤師」の認知度向上，及び薬局・薬剤師が市民にとって身近な存在となっていくようなアプローチのアイデア，広報策を検討していきたいため。
お困りごとの 分 類	以下の項目のうち，当てはまるものにチェック☑してください。 （複数選択も可能） ☐ (1) お困りごとを解決する企画を構想し，事業化したい （プロジェクト化） ☒ (2) 市民，企業，専門家等の自由な意見が聞きたい （対話の場の設定，ワークショップ実施等） ☐ (3) 市民，企業，専門家等を紹介してほしい （「まちづくり・お宝バンク」提案者，協定締結団体等の紹介） ☒ (4) 効果的な広報，宣伝の機会がほしい （広報支援） ☐ (5) その他，市民や他方面の連携
関係する事業が ある場合は， その事業名	・健康サポート薬局普及啓発事業 ・薬物乱用防止対策事業
関係する団体候補 がある場合は， その団体名	・京都府薬剤師会 ・薬学部を設置する大学

<回答期限：令和2年7月31日（金）>

※局区等で課題を複数提示いただける場合には，お手数ですが課題ごとにこの様式を作成ください。
各項目の記載枠は，必要に応じて引き伸ばしていただいて結構です（2枚以上となっても可）。

「庁内・お困りごとバンク」 テーマ応募用紙

(局区等名：産業観光局)

お困りごとの テ ー マ	森林・林業の持続可能な未来と地域振興
所 属 名	農林振興室〇〇課
担 当 者 氏 名	〇〇
連 絡 先	2 2 2 - 〇〇〇〇
お困りごと（行政 課題，事業課題）の 内 容	林業を主産業とする京都北部の農山村地域は、人口と担い手の減少、木材需要の低下により疲弊している。 この行政課題に対し、ICT を活用して、農山村地域と都市部の「つながり」、若年者と高齢者の世代間の「つながり」、住民同士の「つながり」を創出することを通じて、林業の活性化、農山村地域コミュニティ全体の活性化を目指していきたいと考えている。 これを具体的に事業化していくために、企画をどう構想していくか、どうチームづくりをしていくかが課題となっている。
お困りごとの 提 出 理 由	木材利用の減少、林業の衰退の問題と、産業衰退に係る地域力の低下の原因は、単なる木材需要の減少、人口減少だけではない「山間地域と市街地域のつながりの希薄化、地域コミュニティ内の人と人のつながりの希薄化があるのではないか」と認識しており、この状況を改善していきたいと考えているため。
お困りごとの 分 類	以下の項目のうち、当てはまるものにチェック☑してください。 (複数選択も可能) ☒ (1) お困りごとを解決する企画を構想し、事業化したい (プロジェクト化) ☒ (2) 市民、企業、専門家等の自由な意見が聞きたい (対話の場の設定、ワークショップ実施等) ☒ (3) 市民、企業、専門家等を紹介してほしい (「まちづくり・お宝バンク」提案者、協定締結団体等の紹介) ☐ (4) 効果的な広報、宣伝の機会がほしい (広報支援) ☐ (5) その他、市民や他方面の連携
関係する事業が ある場合は、 その事業名	・市内産木材を使った京のまちなみ推進事業 ・未利用木材の利用促進事業
関係する団体候補 がある場合は、 その団体名	・IT系企業 ・林業関係の各種学校 ・木工を扱う福祉団体

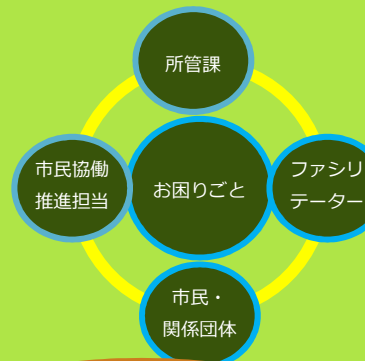
<回答期限：令和2年7月31日（金）>

※局区等で課題を複数提示いただける場合には、お手数ですが課題ごとにこの様式を作成ください。
各項目の記載枠は、必要に応じて引き伸ばしていただいて結構です（2枚以上となっても可）。

「庁内・お困りごととバンク」 重点支援プログラム



～対話とファシリテーション手法を活用した、
新たなお困りごとと解決支援プログラム～



対話とファシリテーションの手法で

あなたの部署の
お困りごとを



解決！！



イノベーション



お困りごとの解決策を、4つの
手法を使って考案していきます！

【お困りごと（行政課題、事業課題）の例】

- ・空き家を学生の住まいやオフィスに活用
- ・認知症の方の社会参加の推進

※「市長のみなさまとの141のお約束」より引用

one



空き家が増え
ると何が
問題になる
か話し合っ
てみよう！

two



空き家対策され
ているNPOの
方を巻き込む！

three



空き家を地
域の居場所
に変えてみ
よう！

four



〇〇学区の空
き家マップを
作ってHP掲
載しよう！

あなたの部署のお困りごとを教えてください！！

あなたの部署で抱えている“お困りごと（行政課題、事業課題）”を、一緒に解決していきませんか？

本プログラムでは、各部署が抱えているお困りごとのテーマを募集し、市民協働ファシリテーターが伴走支援しながら、お困りごとの解決に向けて取り組みます。

テーマごとにプロジェクトチームを作り、約半年間のプログラムの中で、月1回程度のミーティング等を通じて課題を明確化し、①対話、②アイデア、③関係性、④広報の4つの手法を駆使しながら、チームで具体的な解決策を考案していきます。

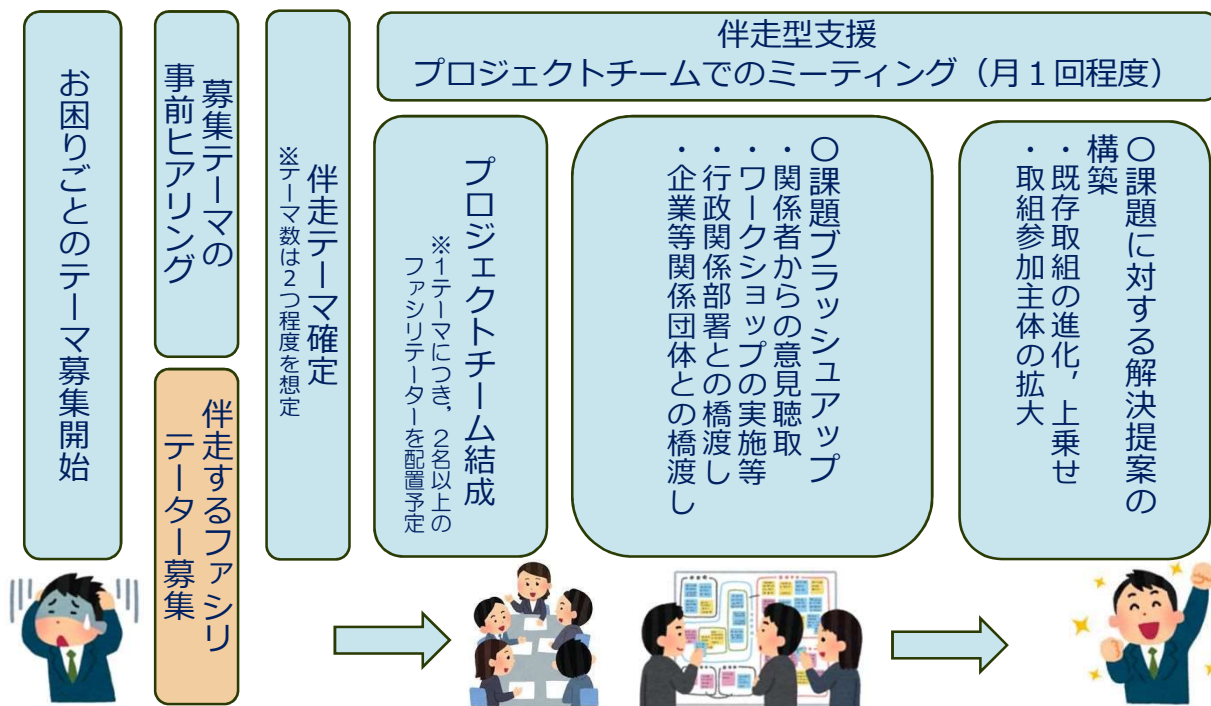
プログラムの詳細は裏面参照

総合企画局総合政策室SDGs・市民協働推進担当（222-3178）

年間スケジュール（イメージ）

※上手く進まなかったら、年度途中での中断も可！

6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



4つの支援メニュー

one



対話
Dialogue

所管課のお困りごとについて、多角的な視点から課題分析。市民協働ファシリテーター（※）のファシリテートを通じて、ワークショップ型ミーティングの場で議論していきます。

※市民協働ファシリテーター：ワークショップデザインや、課題に対する問いの立て方について、5日間の実践型の研修を受講し、市長から任命された職員で、現在90名が活躍している。

two



関係性
Network

お困りごとの解決に資すると想定される関係部署、関係団体（企業、NPO等）、まちづくりプラットフォーム（※）などをご紹介します。多様なセクターが関わるネットワークを構築していきます。

※まちづくりプラットフォーム：「みんなごと」のまちづくり推進事業「クロスセクター京都」、 「京都をつなげる30人」などの対話の場を指す。

three



実践
Practice

お困りごとの課題の本質を見極め、具体的なアクションに落とし込んでいきます。多様なネットワークを活かした取組実践を上げていきます。

four



広報
Publicity

まちづくり専用ホームページへの掲載の他、効果的な広報発表等、お困りごとの解決に資する広報戦略を構築し、実践していきます。

本プロジェクトの類似事例

保健福祉局医務衛生課が「チャレンジ！！オープンガバナンス」（※）という枠組みで、地域課題「市民による薬局・薬剤師等の活用促進（健康サポート薬局）の普及」の市民アイデアを公募したところ、薬学部生、薬剤師、医師、エンジニア、行政職員などでチームが結成され、薬局・薬剤師に身近に相談できるサービスを提案しました。

ICTの活用により、市民と薬局・薬剤師と繋がり合う事ができ、身近に相談できる地域社会を実現する新サービス「Pharmatching（ファーマッチング）」を考案し、「チャレンジ！！オープンガバナンス」において、全国56提案のうち見事1位を獲得しました。

※チャレンジ！！オープンガバナンス

自治体が地域課題（子育て・教育、高齢化・医療、環境、防災、産業振興、まちづくりなど）と関連データを提示し、それに対して市民がアイデアをまとめるプロセスと成果が審査・評価されるコンテスト。

